

# 広島大学病院

Hiroshima University Hospital News

No. 32  
2014. 4

## ニュース



- 新しい立体駐車場がオープン
- 高精度放射線治療センターの運営協定書を締結
- 気になる病院の言葉「治験」
- ニュースアップ  
96歳男性の胸部大動脈瘤治療に成功  
被ばく患者救急医療意見交換会を開催  
待ち時間を利用した「教室」を診療棟で実施

- インタビュー  
てんかんセンターの飯田幸治センター長
- お知らせ  
診療費・諸料金改定  
聴覚・人工聴覚機器センター設置  
前立腺がん外来開設
- 催しのご案内
- 診療棟スポット「屋上庭園」

ご自由にお持ち帰りください。

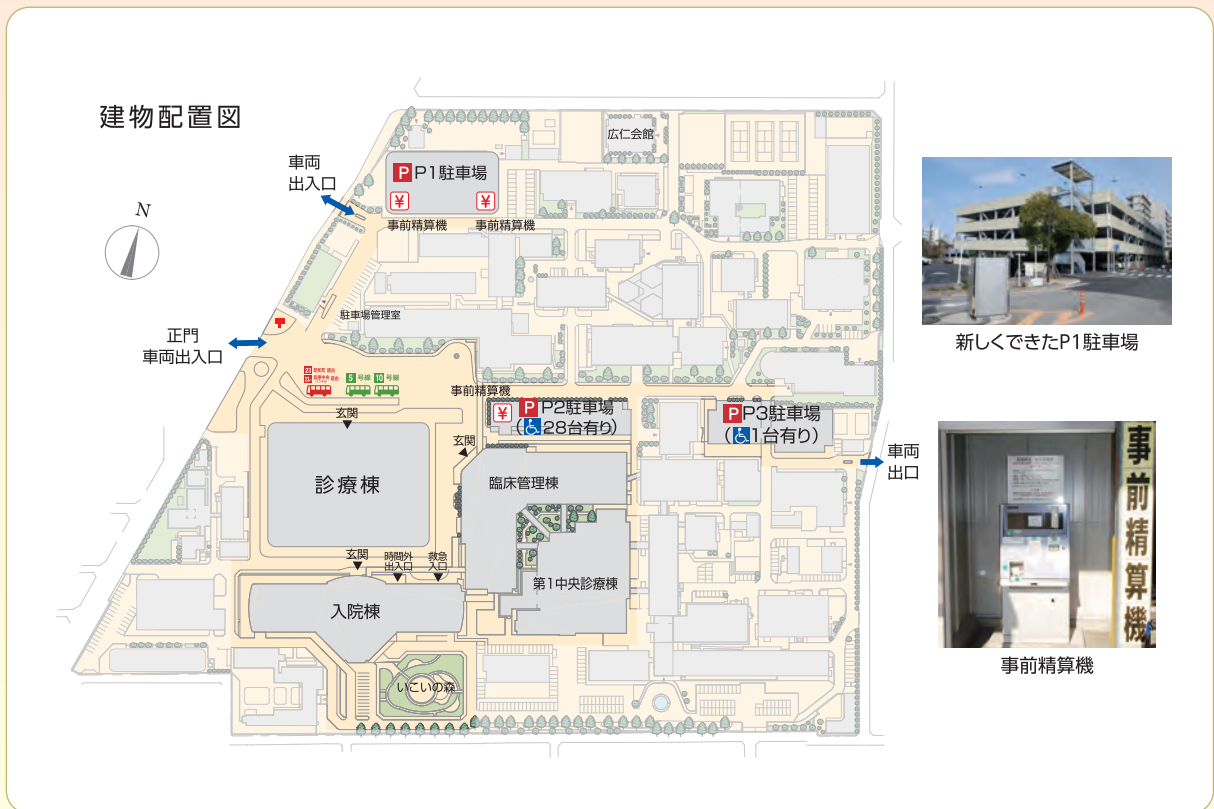
# 新しい立体駐車場がオープン

霞キャンパス構内に建設していた新立体駐車場(P1駐車場)が2月10日から供用を開始しました。

鉄骨建3層4段(合計駐車台数361台、うち患者さん専用は268台)。既設のP2、P3駐車場と合わせた全体の患者専用駐車場の台数は594台となり、従来(404台)の約1.5倍に増えました。

患者さんの車はP2駐車場西側とP1駐車場西側の2カ所のゲートから出入りできるほか、P3駐車場東側からも出構できます。

新立体駐車場の供用開始と同時に、外来患者さんの駐車料金は入構から30分以内は無料、24時間までは一律300円となりました。事前精算機をP1駐車場2カ所、P2駐車場1カ所の計3カ所に設置していますので、ぜひご利用ください。



新しくできたP1駐車場



事前精算機

## 高精度放射線治療センターの 運営に関する協定書の締結式が行われました

最先端のがん放射線治療を行う高精度放射線治療センター(仮称)の運営に関する協定書の締結式が3月28日、広島県庁でありました。

センターは2015年秋の開業を目指してJR広島駅北口に建設中。広島大学病院、県立広島病院、広島市立広島市民病院、広島赤十字・原爆病院の4基幹病院と広島県医師会、広島県、広島市の7者による共同事業として運営します。

締結式には湯崎広島県知事、松井広島市長、浅原広島大学長と各病院長らが出席。浅原学長はあいさつで「医療資源を有効活用し、急速に進歩する医学・医療に対応する施設として、わが国医療の大きなマイルストーンになる」と述べました。

4病院は高精度放射線治療装置3台(リニアック)を共同利用するほか、治療面での連携や人材育成に取り組めます。



協定書を手に記念撮影する湯崎知事(中央)ら



気になる

病院の言葉⑦

# 「治験」

臨床試験の一つである「治験」(ちけん)。広島大学病院でも多くの患者さんが協力してくださっています。治験とは一体どんなものか、あらためて平川勝洋副病院長(診療担当)に聞きました。



平川勝洋副病院長

## ■最近、ポスターや折り込み広告で見かけることも増えました。

新しい薬や医療用具を国に認めてもらうために、有効性・安全性についてボランティアの方に使っていただいて検証する作業を「治験」と呼んでいます。新しい薬や治療法の開発には欠かせません。広島大学病院では2013年度に92件の治験が行われており、ご参加いただいた患者さんの数は延べ3500人を超えました。

## ■具体的な内容を教えてください。

3つの手順を踏んで進められます。まず健康な人に使っていただいて、大きな副作用が出ないかをみます。次に対象とする病気の少数の患者さんで効き目や効果的な使用方法を調べます。安全性や有効性が確かめられたら、さらに多数の患者さんに使っていただき最終的な確認をします。

## ■治験に参加すれば、新薬を使うことができるのですか。

一番信頼性が高いとされているのは、患者さんを実薬(治験薬)と偽薬(プラセボ)の2つのグループに分けて有効性を検証するやり方です。ただ患者さんがどちらのグループに入るかは、担当の医師にも患者さんにも分からない仕組みになっています。患者さんご自身で選ぶことはできません。

## ■参加することによるメリットとデメリットは。

新しい薬を使えるチャンスがありますし、より詳しい診察や検査を専門医から受けられます。その一方で、知られていなかったような副作用がまれに出る可能性もあります。同じ病気を持つ人の将来の治療に役立つことを、ぜひともご理解いただければと願っています。



治験についてのパンフレット

## ■費用の患者負担はありますか。

治験薬についての患者さんの負担はありません。また治験薬を飲んでいる時に行われる検査の負担も掛かりません。

## ■治験への参加に不安を感じる患者さんもおられます。

医師や治験コーディネーター(CRC)が事前に十分な説明をさせていただき、ご納得をいただいた上で患者さんご自身の意思による同意を得て開始されます。また、いつでも途中でやめることができます。不安なことは医師やCRCに遠慮なくご相談ください。

治験についてのお問い合わせは臨床研究部へ。

☎082-257-5596 ホームページ <http://home.hiroshima-u.ac.jp/hugcp/>

## 96歳患者さんの胸部大動脈瘤 ステントグラフト治療に成功

96歳10か月の患者さんへのカテーテルを用いた胸部大動脈瘤の治療に当院の心臓血管外科が成功しました。患者さんは順調に回復し、退院を前にした3月6日、主治医とともに記者会見をしました。

患者さんは広島県山県郡北広島町在住の小下春義さんです。2002年に胸部大動脈瘤の手術をしましたが、近くの大動脈に直径10cmを超える瘤(こぶ)が再発。こぶが破裂するのを防ぐため、足の付け根の血管からステントグラフトという人工血管を入れて、こぶに内側からふたをする治療を行いました。

会見した小下さんは「少しでも長生きしてお役に立ちたい」と笑顔で話されました。心臓血管外科の末田泰二郎教授は「95歳を超える患者さんの治療例は全国でも珍しい。ステントグラフト治療は開胸手術が難しい超高齢の患者さんにも安全に実施できることが裏付けられました」としています。



主治医の片山桂次郎医師と話す  
小下春義さん

## 被ばく患者救急医療意見交換会を 全国3カ所で開催



三次被ばく医療機関である広島大学は2月から3月にかけて、2013年度の被ばく患者救急医療意見交換会を広島市、名古屋市、仙台市の3カ所で開催しました。

この意見交換会は、2013年度から原子力規制庁の委託事業となったことに伴い、これまで西日本を3ブロックに分けて行ってきた地域協議会を発展的に衣替えしたものです。原子力事業所が立地・隣接している全国の24道府県を3つに分け、被ばく患者の広域搬送やネットワーク(顔の見える関係)の強化について意見交換しました。

トップを切って中国・四国・九州地区の意見交換会が2月3日当院で開かれました。7県から被ばく医療機関と行政の担当者ら10人が参加し、取り組みの現状や課題について話し合いました。もう一つの三次被ばく医療機関である放射線医学総合研究所(千葉市)と協力・連携しながら、24道府県との協力関係を築いてまいります。

## 診療待ち時間を利用して ブラッシングや手洗いの仕方学ば

診療などの待ち時間を有効に活用していただくこと、外来患者さんを対象にした健康づくりの「教室」が1月、診療棟3階のイベントホールで行われました。

当院では2013年9月の診療棟オープンに合わせて呼出受信機を導入し、イベントホールをはじめ院内のどこでもお待ちいただけるようになっています。

初回の1月20日は、約30人の患者さんが参加。歯科医師から歯周病と糖尿病の関係について解説を聞いた後、歯科衛生士の指導を受けながら正しい歯ブラシの使い方を学びました。

続いて1月29日には手洗い教室が開かれました。汚れに見立てたローションを手に塗り、手洗いの前後で汚れがどのくらい落ちたかを特殊な光で照らしてチェック。参加した皆さんは念入りに洗ったつもりでも、つまや親指、手首などに洗い残しがあることを実感していました。



## インタビュー

「多職種が協力し、  
包括的な診療を目指したい」

てんかんセンターの 飯田 幸治 センター長に聞く

当院は1月1日付で「てんかんセンター」を開設しました。目的や診療内容について、センター長に就任した飯田幸治・診療准教授にインタビューしました。

## —てんかんセンターを設置した目的は何ですか。

てんかんという病気について一般的に正しく理解されていない現状があります。適切なてんかんの診断・治療を行うことを目的に、関連する各診療科や検査部・診療支援部・看護部・薬剤部・ソーシャルワーカーが協力した包括的な診療に取り組みます。

## —スタッフ体制は。

いずれも兼任ですが、医師はセンター長と副センター長2人を含め計12人。うち小児科2人、脳神経内科1人、脳神経外科2人は日本てんかん学会専門医です。また、医用画像工学士1人、言語聴覚士3人、看護師1人、薬剤師1人、治験コーディネーター2人も加わっています。

## —診療の流れを教えてください。

てんかんの診断には、患者さんやご家族から病歴を詳しくお聞きすることが重要です。そのうえでMRIや核医学検査、脳磁図などの検査を行います。入院して発作の状態を調べる検査をする場合もあります。治療方針は各診療科や部門が集まるカンファレンスで多角的な視点から決めます。手術で改善が期待される場合は外科治療も行っています。

## —受診したい場合、どうすれば。

診療は原則として電話予約制です。発作の状態や年齢に応じて最適な担当科(専門医)と来院日時を調整します。かかりつけ医がいる方は、かかりつけ医にご相談の上、地域連携室に受診予約をしてもらってください。かかりつけ医がない場合は、てんかんセンターに電話してください。

## —治療の悩みを抱えている患者さんも多いと聞きます。

長く薬を飲んでいるのに発作が止まらなくて困っている方は受診をお勧めします。また、妊娠を考えておられる方、発作がてんかんかどうか分からないような場合も、まずお電話いただければと思います。

てんかんセンターの連絡先は☎082-257-1719(月曜から金曜、10時～16時)。

ホームページは <http://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/cyuoshinryo/tenkan/>(「広島大学 てんかんセンター」で検索できます)

【てんかん】けいれんや意識消失などの発作を繰り返す脳の慢性疾患。国内の患者数は約100万人といわれています。てんかん発作には、けいれんだけでなく、いろいろなタイプがあり、どの年齢層でも発症しうるために、担当する診療科も多岐にわたります。

【いいだ・こうじ】1965年呉市生まれ。90年広島大学医学部を卒業後、脳神経外科助手などを経てカナダ・トロント大小児病院でてんかんの焦点診断、手術など研修。2013年から広島大学病院脳神経外科診療准教授。日本てんかん学会評議員。

病院からのお知らせ

## 診療費・諸料金の改定

診療報酬改定により、4月診療分から一部の診療費が変更されました。  
また4月1日から消費税率が8%に引き上げられたことに伴い、当院で定めている諸料金も変更されました。  
なにとぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

## 聴覚・人工聴覚機器センターを設置

「聴覚・人工聴覚機器センター」(センター長・平川勝洋・耳鼻咽喉科教授)を4月1日付で設置しました。  
当センターは、広島県内などの難聴患者さんに対する人工聴覚機器(補聴器、人工内耳、埋め込み型骨導補聴器など)の調整や訓練を、医師、言語聴覚士を中心としたチーム医療により一括して行い、「聞こえ」を最大限に活用できる最適なサポート体制と教育・療育体制(先天性高度難聴児の場合は言語訓練も含む)を構築します。  
スタッフは耳鼻咽喉科医師3人、言語聴覚士4人(いずれも兼務)。予約制とし、耳鼻咽喉科外来で診察します。  
連絡先：耳鼻咽喉科受付 ☎082-257-5477。

## 「前立腺がん外来」開設

前立腺がんを専門に扱う「前立腺がん外来」を3月に開設しました。経験豊富な専門医が患者さん、ご家族の方々の前立腺がんに関するさまざまな悩みや不安に幅広く対応し、かかりつけ医と連携した診察・治療を行います。県民の皆様が前立腺がんにご悩むことのない、健全な生活を維持できるような医療サービスを提供してまいります。  
診察日時：毎週火曜日午後1時～3時  
連絡先：泌尿器科 前立腺がん外来 ☎082-257-5474

催しのご案内 (2014年4月～6月)

### がんと歩む人を支える 患者サロン

(本年度から会場が変わりました)  
場所：広仁会館1階 中会議室

#### 膵臓がんの基礎と治療について

4月17日(木) 14:30～15:30 講師：消化器外科医師 村上 義昭

#### 婦人科がんの基礎と治療について

5月15日(木) 13:30～14:30 講師：産婦人科医師 平田 英司

#### がん治療中の口腔ケア

6月19日(木) 13:30～14:30 講師：摂食嚥下障害看護認定看護師 平山 順子

### がん患者さんやご家族の交流の会 患者おしゃべり会

場所：入院棟5階 相談室

4月22日(火) 13:30～14:30

5月27日(火) 13:30～14:30

6月24日(火) 13:30～14:30

### いずれも参加無料

お問い合わせ：がん医療相談室  
☎082-257-1525

## 診療棟立ち寄りスポット②

2013年9月に開院した診療棟。どなたでも気軽に利用できるスポットをご紹介します。

### 屋上庭園

エレベーターで屋上に出ると、目の前に緑の空間が広がります。約1000tの軽量土壌を敷いた3000㎡の屋上には、タギョウショウ(多行松)、オウゴンマサキ、トキワマンサク、ジュウガツザクラなど約30種の草木を植栽。ハーブ園やパーゴラもあります。心地よい春の日差しを浴びながらミニ散策を楽しみませんか。開園時間は7時30分から17時まで。

